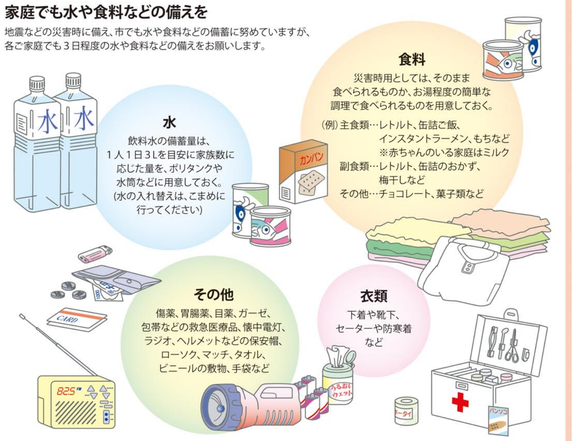
防災対策

家庭でも水や食料などの備えを

地震などの災害時に備え、市でも水や食料などの備蓄に努めていますが、
各ご家庭でも３日程度の水や食料などの備えをお願いします。



水
飲料水の備蓄量は、
１人１日３Ｌを目安に家族数に
応じた量を、ポリタンクや
水筒などに用意しておく。
(水の入れ替えは、こまめに
行ってください)

食料
災害時用としては、そのまま
食べられるものか、お湯程度の簡単な
調理で食べられるものを用意しておく。
(例) 主食類…レトルト、缶詰ご飯、
インスタントラーメン、もちなど
※赤ちゃんのいる家庭はミルク
副食類…レトルト、缶詰のおかず、
梅干しなど
その他…チョコレート、菓子類など

その他
傷薬、胃腸薬、目薬、ガーゼ、
包帯などの救急医療品、懐中電灯、
ラジオ、ヘルメットなどの保安帽、
ローソク、マッチ、タオル、
ビニールの敷物、手袋など

衣類
下着や靴下、
セーター や防寒着
など

地震の強さと被害

震度	人の感じ方など	屋内の状況
0	人は揺れを感じない。	
1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。	
2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。
4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 座りの悪い置物が倒れることがある。
5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。 一部の人は、行動に支障を感じる。 東京地方震度5以上：市職員が市役所に参集。 防災行政無線で「出火防止、安否確認など」を放送。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 座りの悪い置物の多くは倒れ、家具が移動することがある。
5強	非常な恐怖を感じる。 多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。
6弱	立っていることが困難になる。 東京地方震度6以上：市職員の全員が市役所に参集。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。 開かなくなるドアが多い。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。 戸が外れて飛ぶことがある。
7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

東京地方に震度5以上の地震が発生した際、市は非常配備態勢（状況により全職員）をとり、震災に対応します。

地震発生時の時間経過別の行動 (いざ、地震が発生したら)

大地震が発生した場合、どのような事態が起こり、何をすればよいのでしょう。
時間の経過とともに想定される状況と行動をシュミレーションすると、次のようになります。

時間の経過	状況	個人の行動	自主防災組織の活動
0：00 ～ 0：03	地震発生	・まず、身の安全をはかる ・揺れが収まったら火を消す ・脱出口を確保する （ドアや窓などを開ける） 	
0：03 ～ 0：05	揺れがおさまる	・火元の確認 （ガスの元栓をしめ、電気のブレーカーを切る） ・火が出ていたら、落着いて初期消火をする ・家族の安全を確認 （倒れた家具の下敷きになっていないか確認） ・靴やスリッパなどを履く （ガラスの破片などから足を守る）	
0：05 ～ 0：10	安全確認 初期消火 （余震に注意）	・隣近所に声をかける ・近所に火が出ていないか ・火が出ていたら大声で知らせる	・隣近所で助け合う （災害時要援護者の安全確保。 行方不明者、けが人はいないか確認） ・出火防止を呼びかける ・初期消火を行う
0：10 ～ 半日	火災の発見 家屋の倒壊発見 負傷者の発見 （余震に注意）	・皆で消火・救出活動 ・ラジオなどで情報を確認 ・デマに惑わされない ・避難に車を使用しない ・避難時はブロック塀、ガラス、がれきに注意 ・電話は緊急連絡を優先 	・地域内の被害情報収集 ・市などの情報を正しく伝達 ・初期消火活動、救出活動 ・負傷者の応急救護 ・地域の事業所などの協力を得る ・困難な場合は消防署などへ応援を要請する
半日 ～ 3日	自力での生活 または 避難所生活	・水、食料は蓄えてまかなう ・消火・救出活動に協力 ・自主防災組織に協力して、秩序ある避難所生活を ・壊れた家には戻らない	・市と連携して避難所を運営
3日以降	復旧活動開始	・通常の生活に戻るため、ボランティアや行政機関などと協力して、生活再建と地域の復興を進める	・市と連携して避難所を運営

洪水ハザードマップ 土砂災害ハザードマップ

Flood hazard map
洪水危險地图
홍수 재해 예측지도
Mapa de riesgos de inundaciones

Landslide hazard map
砂土灾害紧急避难地图
토사재해 해저드 맵
Mapa de riesgos de deslizamientos de tierra

【洪水ハザードマップ】
この地図は、国土交通省が公表した「多摩川浸水想定区域図」をもとに、多摩川が氾濫した場合に想定される浸水範囲、深さ、避難所などを示した地図です。洪水時には人命に係わる事態の発生も予想されます。市からの避難情報や気象情報、河川水位情報などに注意し、堤防が決壊する前に避難が完了するようにしましょう。

○浸水想定区域の想定条件
多摩川流域に２日間で総雨量４５７ｍｍの大雨が降ることを想定しています。
（おおむね２００年に１回程度の確率で降る大雨）

○ご覧になる際の注意点
浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川、下水道の整備状況により変化することがあり、実際には、この想定と異なることがあります。また、地図に示した浸水想定区域以外でも想定を超える豪雨により浸水することがあります。

○浸水履歴は、市内で過去５年間に０．２ｍ以上の浸水実績のあった箇所を示しています。

多摩川に関する問合せ先
国土交通省京浜河川事務所
多摩川上流出張所　042-552-0667

多摩川水系多摩川浸水想定区域図については、次のホームページでも公開しています。
国土交通省京浜河川事務所
http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/

【土砂災害ハザードマップ】
この地図は、東京都が指定した土砂災害（特別）警戒区域図をもとに作成したもので、がけ崩れや土石流などが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を示した地図です。急な斜面は豪雨や地震などの影響により災害のおこるおそれがあります。避難情報や気象情報などに注意し、早めの避難を心がけましょう。

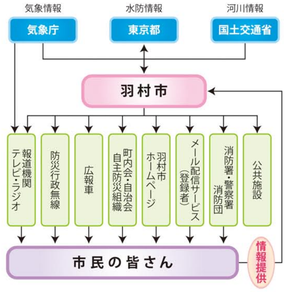
土砂災害警戒区域図については、次の場所でもご覧いただけます。
東京都西多摩建設事務所
0428-22-7405
公益財団法人東京都公園協会立川事務所
042-527-9763

情報収集はこちらから

テレビ、ラジオやインターネットなどで正確な情報を入手しましょう。また、市民の皆さんからも情報提供をお願いします。

気象庁天気予報サービス	電話　１７７ ホームページ	気象庁発表の最新の天気予報が聞けます。 http://www.jma.go.jp/jma/
国土交通省防災情報提供センター	ホームページ 携帯電話から	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/ http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html 降水量や雨雲の動きなどが見られます。
東京アメッシュ	東京都下水道局総務部広報サービス課　電話　03-5321-1111（代） ホームページ 携帯電話から	http://tokyo-ame.jwa.or.jp/ http://n-tenki.jp/Tkamesh/（ｉモード・EZ Web・ソフトバンクモバイル用）
国土交通省京浜河川事務所	多摩川の雨量・水位情報　電話045-503-5515 ホームページ 携帯電話から	http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/ http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/
東京都水防災総合情報システム	ホームページ 携帯電話から	http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/ http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/k/ 都が観測している河川の水位や降水量が見られます。

情報伝達の方法　＜情報の伝達経路＞



避難及び立ち退きの勧告及び指示

風水害による避難及び立退きの勧告及び指示は、原則として次のような事態になったときに発します。

1. 河川が氾濫注意水位を突破し、洪水のおそれがあるとき。
2. 避難の必要を予想される各種気象警報が発せられたとき。
3. 河川の上流が水害を受け、下流地域に危険があるとき。
4. 火災が拡大するおそれがあるとき。
5. ガス等の流出拡散により広域的に人命危険が予想されるとき。
6. 地すべり、がけ崩れ、土砂流等により危険が切迫しているとき。
7. 土砂災害警戒情報が発表されたとき。
8. その他住民の生命又は身体を災害から保護するため必要と認められるとき。

警報と注意報の発表基準

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって**災害が起こるおそれのあるときに「注意報」**を、**重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」**を発表して、注意や警戒を呼びかけます。

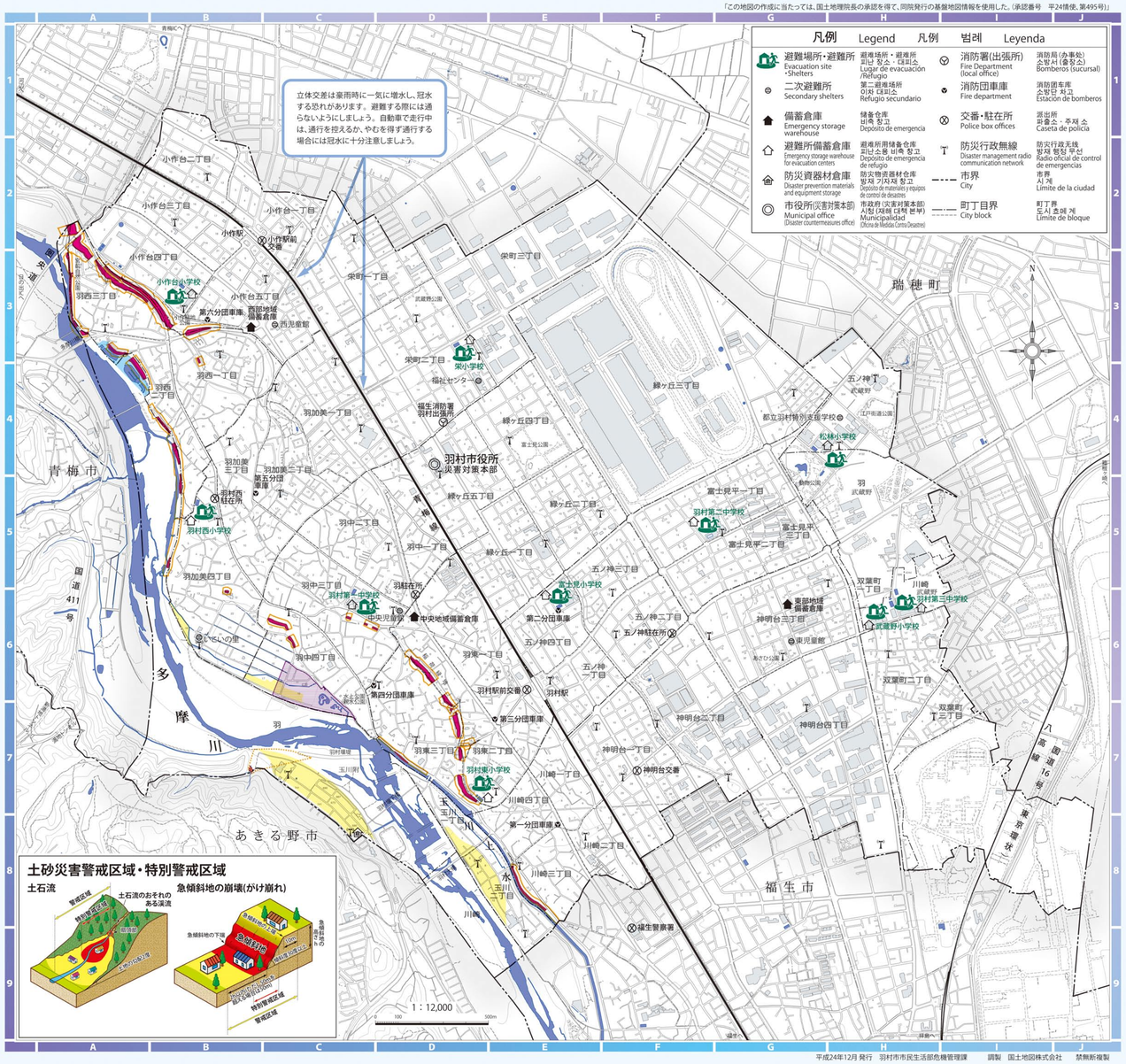
種類		予想される災害	発表基準 雨量	発表基準 雨量指数
注意報	大雨注意報	浸水被害や土砂災害が発生する恐れのあるときなど	１時間雨量	土壌雨量指数基準 134以上
	洪水注意報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害の恐れのあるとき	50mm 以上	―
警報	大雨警報	重大な浸水被害や土砂災害が発生する恐れのあるときなど	１時間雨量	土壌雨量指数基準 158以上
	洪水警報	河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害の恐れのあるとき	70mm 以上	―

＊羽村市は「多摩西部」地域となります。
＊土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかを気象庁が指数化したものです。
気象警報が発令された際、市は非常配備態勢（状況により全職員）をとり、風水害に対応します。

風の強さと被害

平均風速(m/s)	おおよその時速	風圧(kg/m2)	予報用語	建造物の被害
10以上15未満	～50km	～11.3	やや強い風	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15以上20未満	～70km	～20.0	強い風	ビニールハウスが壊れ始める。
20以上25未満	～90km	～31.3	非常に強い風 （暴風）	風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25以上30未満	～110km	～45.0		ブロック塀が壊れ始める。
30以上	110km～	45.0～	猛烈な風	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

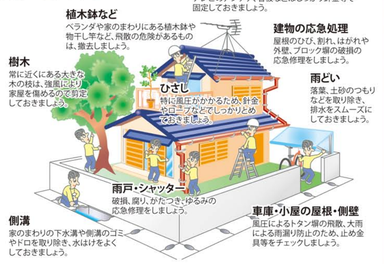
雨の強さと被害



台風が近づいたら

突然起こる地震とは違って、台風はある程度予測できます。テレビやラジオの予報によく注意して、早めに対策を立てましょう。

事前の台風対策



避難する時の注意事項

安全な服装で
・ヘルメットや防災頭巾を着用し、運動靴などのすべりにくい履物で避難。裸足や長靴は危険です。（長靴は水が入ると、動きにくくなります）
・荷物は最小限にして、両手がふさがらないようにしましょう。

足元に注意
・冠水したときは、側溝が見えなかったり、マンホールのふたが外れているなど、水面下に危険が潜んでいます。長い棒などを杖代わりにして、足元の安全を確認しましょう。

水深に注意
・歩行可能な水深は、男性で７０ｃｍ、女性で５０ｃｍ、子どもで３０ｃｍが目安です。
・水深が深い場合や、くるぶし程度の深さであっても流れが激しい場合などは、無理をしないで高いところで救助を待ちましょう。

一人で行動しない
・隣近所に声をかけ、集団で避難しましょう。

子どもや高齢者などへの配慮
・子どもや高齢者に浮き輪を持たせたり、歩行困難な人は背負うなどして、安全を確保して避難しましょう。

土砂災害の種類と前兆現象

土石流とは
山麓、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。
・急に川の流れが濁り流木が混ざっている。
・山鳴りがする。
・雨が降り続いているのに川の水位が下がる。

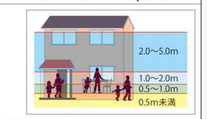
がけ崩れとは
地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。
・がけに割れ目が見える。
・がけから水がわき出ている。
・がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。

ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

洪水・土砂災害凡例 Legend 凡例 범례 Leyenda

浸水した場合に想定される水深（ランク区分）
Projected Water Depth During Flooding (by Rank)
浸水預想深度（分級）
침수시 예상되는 수심 (단계별 구분)
Profundidad prevista en caso de inundación (rangos)

	2.0～5.0m未満の区域 2.0～5.0m zone	2.0～5.0米的区域 2.0～5.0m 구역 De 2.0 a menos de 5.0 metros
※1	1.0～2.0m未満の区域 1.0～2.0m zone	1.0～2.0米的区域 1.0～2.0m 구역 De 1.0 a menos de 2.0 metros
※1	0.5～1.0m未満の区域 0.5～1.0m zone	0.5～1.0米的区域 0.5～1.0m 구역 De 0.5 a menos de 1.0 metros
	0.5m未満の区域 Under 0.5 m zone	0.5米的区域 0.5m 미만 구역 Menos de 0.5 metros
	浸水履歴（※2） Flood history	浸水履歴 침수 이력 Área con historial de inundaciones



※1：羽村市内には0.5m以上2.0m未満の浸水深は想定されていません。
Flooding depth of over 0.5 m, under 2.0 m is not expected within Hamura City.
羽村市內預想會水深深度不在“0.5米以上2.0米以下”這一范圍。
해무라 시내에는 0.5m 이상 2.0m 미만의 침수심은 예상되지 않습니다.
En la ciudad de Hamura no se prevén inundaciones de 0.5 m a menos de 2.0 m.

※2：過去5年間に0.2m以上の浸水実績のあった箇所
Places where flooding of over 0.2 m has occurred during the last five years
近5年中，发生过0.2米以上浸水的地方
과거 5년간에 0.2m 이상의 침수 실적이 있던 개소
Lugares con inundaciones de 0.2 m o mas en los últimos cinco años

土砂災害の種類
Type of landslide
砂土灾害的种类
토사재해의 종류
Tipo de desastre por deslizamiento de tierra

		土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
土石流 Mudslide	泥石流 토석류 Flujo aluvial de roca y lodo		
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ) Collapse of steep slope areas (landslide)	陡坡崩塌（悬崖崩塌） 급경사지의 붕괴(절벽 붕괴) Derrumbe de terrenos inclinados		

※土砂災害警戒区域(イエローゾーン)：土砂災害のおそれがある区域
・Landslide hazard zone (yellow zone): Landslide risk zone
・砂土灾害警戒区（黄色警戒区）：可能发生砂土灾害的区域
・토사재해 경계구역(옐로 존): 토사재해의 우려가 있는 구역
・Área de alerta ante desastres por deslizamientos de tierra (Zona amarilla):
Las áreas donde existe riesgo de desastres por deslizamientos de tierra

※土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)：
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
・Landslide special hazard zone (red zone):
Of the landslide hazard zones, areas with a risk of damage to buildings and significant harm to residents
・砂土灾害特别警戒区（红色警戒区）：
砂土灾害警戒区中可能发生建筑物损坏、可能对居民构成显著危害的区域
・토사재해 특별경계구역(레드 존): 토사재해 경계구역 중 건축물이 손괴되어 주민에게 현저한 위해가 발생할 우려가 있는 구역
・Área de alerta especial ante desastres por deslizamientos de tierra (Zona roja):
Entre las áreas de alerta ante desastres por deslizamientos de tierra, las áreas donde existe riesgo de daños a edificios y daños considerables a los residentes